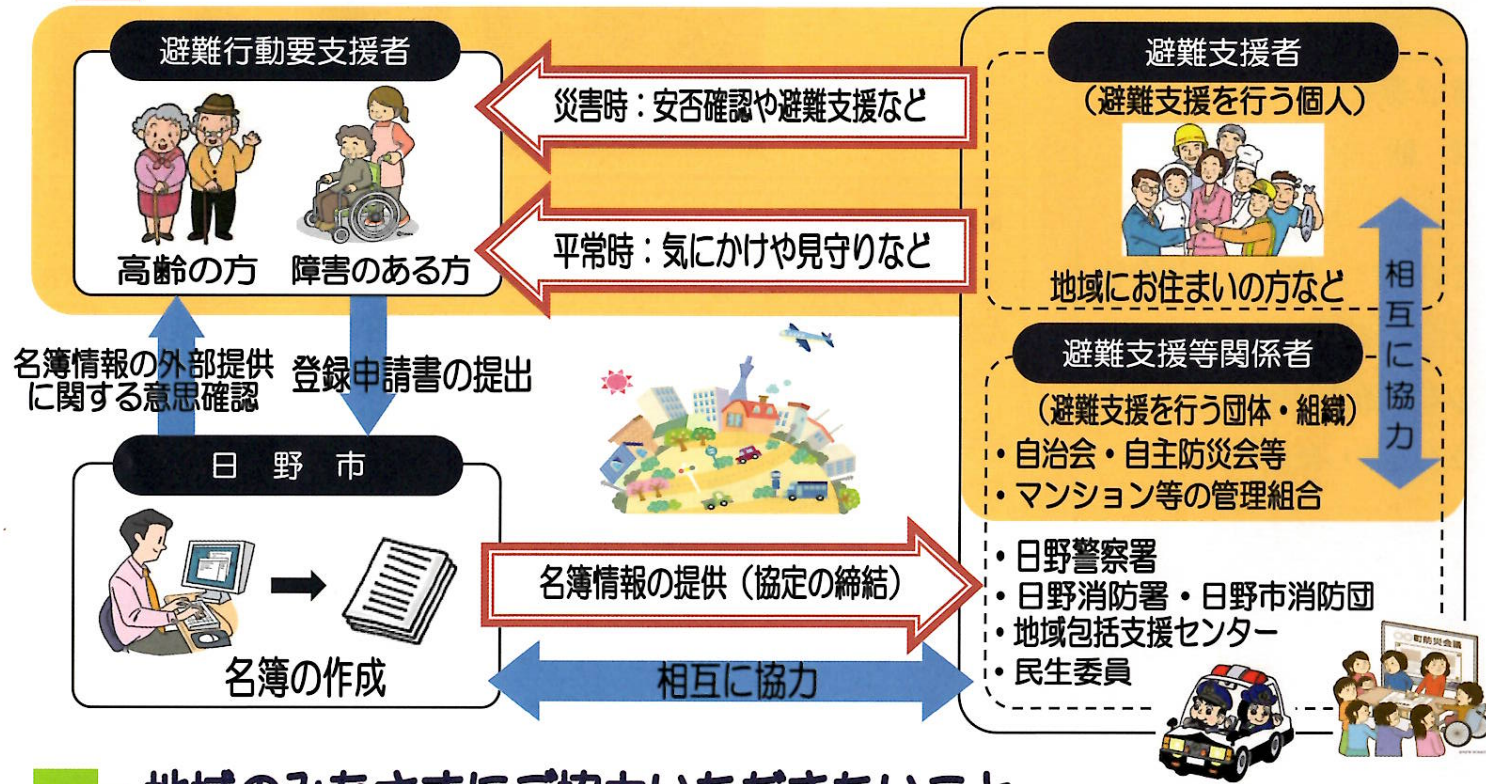


# 地域の防災活動にご協力をお願いします

## 地域のみなさまへ

高齢者や障害者など『災害時に助けてほしい!』と自ら意思表示をした人たちがいます。日野市では、そのような人たちの名簿（避難行動要支援者名簿）を作成し、自治会や自主防災会などの地域に提供し、地域で「見守り」「助け合う」体制づくりを進めているところです。今後もより多くの地域に名簿を提供し、地域主体の防災活動の取組みを広げていきたいと考えています。災害などのいざという時に、地域全体で助け合うことのできるまちづくりを市と一緒に進めていきましょう!

### 避難支援の流れ（制度の概要）



### 地域のみなさまにご協力いただきたいこと

- ①市が提供する名簿の受取りをお願いします。  
※制度の概要や名簿の受取り方法などは、下記の間合せ先にご相談ください。  
※必要に応じて個別に説明に伺います。
- ②名簿を活用した地域の避難行動要支援者の「見守り」をお願いします。（平常時）
- ③名簿を活用した避難行動要支援者の避難支援や安否確認をお願いします。（災害時）  
※名簿を活用して行う具体的な取組内容については、下記の間合せ先にご相談ください。

■ 問合せ先 電話：042-585-1111（代表）  
日野市 総務部 防災安全課 内線7745・7746  
健康福祉部 高齢福祉課 内線2422・2423  
健康福祉部 障害福祉課 内線2321・2322



## 二中地区版

■発行日/平成 28 年 5 月  
■発行・編集/日野市企画部地域協働課  
〒191-0011 日野市日野本町 1-6-2  
■電話/042-581-4112

### 特集!

- ▶ 1 多摩平の新しい施設「PlanT」で活躍する人が増えています!
- ▶ 2 東京の米蔵「豊田」の風物詩「餅つきの風景」を守っています!

(写真) 豊田第四自治会のみなさま

H28年  
通算第19号

### 地域がつながるフリーペーパー

「地域かわら版」は、市内八中学校区ごとに、地域の活動を紹介する地域情報誌です。「こういう活動をしている人がいるんだ」と知ること、「今度行ってみようかな」と参加すること、「自分も何か活動してみようかな」と行動することのきっかけになれば幸いです。

▶▶▶二中地区プチ情報! アクションプラン実行委員会 を開催しています。

地域懇談会では、これまで地域の課題を地域の人々で解決するためのアイデア「アクションプラン」を、地域の人々で考えてきました。二中地区のアクションプランは「二中 Buranning!!」です。Buranningとは、まちをぶらぶら歩きながら地域が元気になることをプランしようという造語です。

二中地区全体で取り組むことで、地域に関心のなかった方にも関心を持ってもらおうとするものです。

このプランを具体的に実行に移すため、平成 28 年 4 月 14 日に第 1 回実行委員会を開催しました。自治会、市民団体など、有志の方が集まり、それぞれの立場から活発にざっくばらんに意見を出し合いました。みんなで一つのことを行うことが好き、まち歩きに興味のある方は、お気軽に上記お問い合わせ先にご連絡ください。

▶人と物が集まる店 「こぶらす Co+」

「こぶらす Co+」(日野市多摩平 2-5-1 クレヴィア豊田多摩平の森 1階、OPEN 10:00-19:00 木曜定休)は、見た目は雑貨屋さんのように見えますが、「女性起業家支援」「情報交換と発信の拠点」「空き家・空き部屋の相談窓口」として、まちの皆さんに気軽に立ち寄ってもらえる場所になりたいと思っています。



▶日野市で頑張る女性たちを応援

「こぶらす」は、起業を目指す女性や家庭と両立しながら事業をしている女性たちが、将来、自分のお店を持てるようになるために、店舗での経験やお客さまとのやりとりの中から何かを学んでもらえる場をつくっています。

異なる業種の方の商品・サービスを扱っていることから、洋服、アクセサリから健康グッズ、食品などの販売、着物のリメイク、空き家・空き部屋の相談と様々で、そこがちょっと面白いお店です。商品には手づくりのものが半分以上を占め、一点もののこだわりのオリジナル商品が多いことも特徴です。また、物づくりワークショップや体験教室、民泊セミナー、女性の起業相談なども開催しています。今後は、異業種の出会いからそれぞれの強みを活かしつつ、



日野を一躍有名にするような新しい商品やサービスを生み出すことができると考えています。

▶Uターンして気付いた日野の魅力

2年程前に子ども時代を過ごしたこの日野市に戻ってきました。その時、初めて**日野市の魅力に気づきました**。水の湧く場所、蛍の生息する場所、クワガタ捕りができる場所が残り、山や川、畑があり、町の風景に水路がある自然豊かな町で、観光資源になり得るものがたくさんあります。日野市に住む人から「日野にはこれと言って何もない」という声を時々耳にすることがありますが、当たり前の光景になっているだけで、それらはすべて**日野市の大きな財産**だと思います。

日野の魅力と価値を多くの人に伝えていくためにも、こぶらすを情報発信の場に、空き家・空き部屋の有効活用の方法の一つとして民泊を地域で増やしながら外からの人にも日野を楽しんでもらえるような地域づくりをしていければと考えています。**住む人が自慢したくなる町になれる要素をもった町、それが日野市だと実感**



(文・写真=あれいすと代表/こぶらすオーナー 壺井あゆみ)

多摩平にできた

新しい施設

PlanT

多摩平の森産業連携センター

で

活躍している人が

増えています！

平成 27 年 10 月

J R 豊田駅北口に PlanT (日野市多摩平の森産業連携センター) がオープンしました。

ここは、市民や企業、大学、創業を目指す方など、さまざまな主体が「しごと」をテーマに課題・アイデアを共有することで、未来に向けた新たな事業や産業の創出を図るための施設です。

今回は、日野市創業セミナーの卒業生で、PlanT の一角のチャレンジショップに平成 27 年 12 月にオープンした「こぶらす Co+」のオーナーをご紹介します。

かつての

東京の米蔵

「豊田」の風物詩

餅つきの風景

を

守っています！

昔は豊田の風物詩とえば、餅つきをする風景でした。その風景が少なくなっている今、豊田の伝統を後世に伝えていきたいと活動している 2 つの自治会を取り上げました。

田植えから収穫までの様子

▶豊田第三自治会

1月24日(日)、自治会員相互及び地域諸団体(子ども会・少年野球チーム・空手道場に通う子ども達・老人クラブ・近隣自治会の皆さま)との親睦と交流を目的に、豊田南地区センターにて、豊田第三自治会 餅つき・ビンゴ大会を実施しました。第1部は、餅つき大会。子どもからお年寄りまで、また**自治会加入、未加入にかかわらず、誰でも参加できる**餅つき体験をし、子どもも大人も普段家庭では味わえないつきたてのお餅とトン汁の味を味わい、第2部は、第三子ども会が主催のビンゴゲーム大会を楽しみました。今年は、親子連れや子ども達の参加者が多く、楽しそうに歓談している姿が多く見られました。最後に行ったアンケートにも、自治会未加入者も含め、総勢 250 名近くの参加があり、来年もまた開催して欲しいとの声が多数寄せられました。

(文:豊田第三自治会 会長 小俣 薫 写真:豊田第四自治会 会長 有竹 晴彦)



▶豊田第四自治会

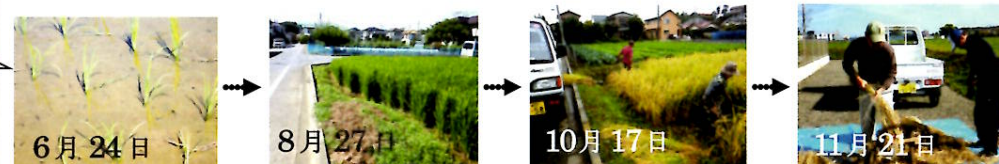
平成 27 年、東豊田地区において今では**市内に残り少ない田んぼ**にて、農家さんのご理解ご協力を頂き、田植えから稲刈り、収穫作業を実施いたしました。

田植えの経験者は私と、田舎が農家の若い奥さんと 2 人だけでしたので、多くの参加者にとっては、**初めての貴重な田植え経験**をさせて頂きました。田植えから稲刈り、収穫作業、精米作業を経て、12月23日に豊田南地区センターにおいて、餅つき大会を実施しました。

餅つき大会では、元農家の女性陣たちが、この時ばかりは！と、あんこ餅・辛み餅・きな粉餅・お土産の餅作りに張り切って頂きました。また、若いお父さん達や子ども達も一緒に、自分でついた出来立てのお餅を食べ、一日楽しく過ごすことが出来ました。

今年初めての取組でしたが、参加者からは「また来年も！」との声を頂きました。会長としてまた参加者が増え、みんなが「楽しくて良かったね」と言われることが一番です。会員また近隣の方、本当にありがとうございました。

(文・写真:豊田第四自治会 会長 有竹 晴彦)



6月24日

8月27日

10月17日

11月21日